

陶芸部 陶芸製品、陶芸作品の制作の工程

(目標)

- 製品作り：せと市に向けて、買ってくれる人がどんな器を求めているのか、生活の中でどんな焼き物が必要なのか、使いやすい器のデザインはどのようなものか等を考えて、製品づくりに取り組む。
- 作品作り：これまでに学んだ陶芸の技術や知識を生かして、町の文化祭に向けた作品作り、3年生を送る会で先輩への感謝のプレゼント作り、学年末に向けた修了制作に取り組む。

(工程)

- 1 土練り 赤土と白土を混ぜて、土をよく練る。
- 2 成形 ひもづくりや板づくりなど基本の手法をマスターしながら制作に取り組む。
- 3 乾燥 美術室の中で、1週間以上乾燥させる。乾燥が十分でないと焼いた時にひび割れが生じることがある。
- 4 窯入れ・素焼き 乾燥した作品を窯に詰め素焼きする。約8時間、約800度の温度で焼く。焼き終わってから数日間放置し、熱が冷めてから窯から出す。
- 5 撥水剤塗り 素焼きした器を水洗いして、余計な土を洗い落とし乾燥させる。乾燥した器の外側の底や釉薬をかけたくない部分に撥水剤を筆で塗布する。
- 6 釉薬がけ 撥水剤が乾いたら、釉薬をかける。釉薬は少しでも時間がたつと薬と水分が分離するため、常にかき混ぜている必要がある。釉薬をつけることで表面をコーティングし土の中に水分がしみ込むのを防ぐ。焼く前後で、色が全く違うので焼き上がりをイメージしながら釉薬をかける。
- 7 窯入れ・本焼き 釉薬が乾いたら器を窯に入れる。窯の中に、つくといわれる脚と耐熱板で棚を作り、器同士を少し話しながら窯に入れていく。約10時間、約1300度で焼く。焼き終わってから数日間放置し、熱が冷めてから窯から出す。
- 8 磨き・完成 窯出した器の外側の底をやすりで滑らかに磨いて完成。